

A silhouette of a gnarled, leafless tree with a thick trunk and several thin, branching limbs. The tree is set against a clear blue sky. In the upper right corner, a thin, pale crescent moon is visible. The overall scene is serene and minimalist.

かける

Bブロック全作品と講評 www.columnland.net

九月十八日 正午過ぎ

〳〳ヤカンとカップラーメン編〳〳

主が

我輩を使っている。どうやら人

間社会でいう「お昼時」のようだ。

吾輩の仕事は、他者

にお湯をかける事である。そのためか、い

つも五徳に「お前、実はSなんじゃないのか」

とよくいわれる。全く事実無根である。ちょうど

そんな時にお湯が沸くせいで、すぐ怒るように思われているに違いあるまい。吾

輩の心はこのお湯のように澄み渡りこの湯気のように

に純白だといふに。

あ

ち

み

み

み

あ

ち

み

み

ついに

この日が来ちゃった

か。させねえ人生だと思っていたら、最期

までさえなかったぜ。もう少しでオヤジさ

んの片ウデになれそうだったのによ。こ

んな頭が空っぽ。そんな顔のやつにお湯ぶっ

かけられてそれで終わりかいのか、オレ。

セイセイ最期までオレの辛さでヒイヒイ言

わせてやるぜ。くそ

つたれ

欲求ジグソーパズル

見つからない

僕の欠けている所を埋めるピースが
もう少しで完成なのに

見つけた

僕の欠けている所を埋めるピースが
これでもう完成だ

あれ？

このジグソーパズル、よく見るとまだまだ絵が続きそうだ
このジグソーパズル、よく見るとまだまだいびつな形をしている

だいぶ大きな絵になったのに

今まで数えきれない程のピースを見つけたのに
未完成に感じるなんてだろう

ピースを集めても、集めても

しっくりとした形にならないのはなんでだろう
そもそも額縁が無いのはなんでだろう

時間切れだ

もうパズルはできない

でも悔しくなんかない

未完成のこの絵に満足できたし
ピースを集めるのも楽しかった

完成者は誰一人いないのかもしれない

トラウマ

僕の名前は佐野 駆(さのかける)

元気で活発な子供になってほしくて

親がつけた名前だ

僕は自分のこの名前に誇りをもっていた

自分のできる限り駆け抜けたい

そんな気持ちがあった

そして心に決めていた

自分の名前の通りに

とにかく限界まで駆け抜けようと

中学では陸上部に入って

好記録をだしつつけた

自分の名前に誇りを持って…

しかし過剰な運動の末

僕は怪我をして入院した

医者は言った

もう陸上は無理だろうと

それから僕はこの駆という名前が嫌になった

自分はもう駆けることはできないのに

くやしくてたまらなかった

この名前への思い入れが強かったからこそ

自分の名前が本当に

嫌になった

やめてくれ…

駆って呼ばないでくれ…

嫌だ…僕はこの名前が嫌いなんだ…

周りから駆とよばれるたび僕は悲しくな

たかが名前のことと思う人もいるだろう

だが言葉で表せないくらい

僕は自分の名前が嫌だった

そうしてしまいは自己嫌悪にまでおちいった

そんな僕もいつしかこのトラウマを

忘れていた

何故だろう？

僕の名字は佐野

駆は三文字だけど佐野は二文字

こっちのほう呼びやすいので

たいていの人が僕を名前ではなく名字で呼ぶ

そして少しずつ

自分の名前に対する意識は薄れていき

名前への思いも自然消滅していたのだ

そして僕は悟った

簡単な話だ

名前なんて人と人を区別するための

単なる記号なのだから

意味合いなんか求める必要なんてなかったんだ

×

欠けている心には

冷たい風が吹いていて

それを隠そうとするけれど

それを補うものではなくて

だから人と人はそれを埋め合おうとして

身を寄せ合うけれど

欠けている心と心が

ぴつたりと合わさることなんてなくて

けれど諦めることはできなくて

どうしようもなく届かない思いを

どうしても分らない心を

どこまでも交差させていく

あれはなんだ…？

辺りの景色がにじむ。

かろうじてわかるのは、白や黒といった色の識別位だ。

前方を見ると、黒の円盤が無数に浮かんでいる。

あれはいつたいなんなんだ。

耳を澄ませてみると、右だの左だの、進行方向を指し示す声が聞こえてくる。いつたい、あの円盤はどこに向かうのであろうか。

近くにいた男が不意に呟いた。

「全ての円盤は完全な円の形をしていない。

何故かは分からぬが、どこか一部分が欠けているのだ。」

欠けるってなんだ？

どこが欠けているんだ？

わからない。僕には全て同じ円に見える。

わからない。何故欠けているんだ。

わからない。僕はどうすれば良いんだ。

わからない。

わからない。

わからない。

悩んでいてもしょうがない。

全てがぼやけ何も分からないこの世界。

だからといって立ち止まるわけにはいかない。

僕は勇気を振り絞って一つの道を指し示した――

「ん…そろそろ眼鏡を作ったほうがよさそうだねえ。」

視力検査が終わった。最近めつきり目が悪くなってきた困る。

そろそろ裸眼で暮らすのも辛いかな…。

中学二年生の夏。こうして僕は、眼鏡をかけることになった。

ランドルトの世界

雑記

1月 1日 午後 一日に一文字で
最近色々な本を読むのにハマってます。一日の中で、一文字ずつ活字を追いかける 時間は、疲れるけど充実していてけっこう楽しい。

3月 1日 午後 日付が
今日も寝坊しました。ここらで生活を改善しないと本当にやばいです。そこで休みの日でも目覚ましを平日と同じ 時間にかける ことにしました。そうすれば平日の生活が乱れないはず。さらに早寝早起きもします。明日から頑張ろう

4月 1日 午後 時計の針を戻して
あの方法を試して一か月。相変わらず寝坊してます。どうやら自分は朝早すぎても起きれないみたいです。仕方ないから目覚まし時計の 時間を朝の7時1分に掛けなおそう。 うむ。これなら平気だ

2月 1日 午後 1つの字
毎晩寝る前には、お祖父さんの形見の、もう止まった時計をとりだして、自分でその長針を動かすのが日課です。 時計の針を戻しかけると、その日のあった出来事が思い浮かびます。そして長針を一周戻すたびに1つの事をさかのぼっていく、 そうやって今日あったことをよく思い出して一日一日を大切にしないってよくお祖父さんから言われました

9月 1日 午前 句点
ビーズ細工を作ったんですが、小さなビーズを何個か数え間違えてしまったらしく、かなり見栄えが悪くなってしまいました。 細かいやつだって一つも欠けることのないように正確に数えないと いけません。

十月 1日 午前 ごめんなさい
推理物の小説を書くのが趣味な友人がいて、自分で書いたやつを読ませてくれるんですが、 文章書くのが下手な上にトリックを仕掛けるのも致命的です。順序とか無茶苦茶なことがあります。あと回りくどかったり必死に補足してたり…。 頑張っではいるみたいだけでも。

「まずはテーマを手掛かりに」

『おにがてん』

僕は君が現れたら、いつも君を追いかける。
だって君のことがキライだから。

僕は君がそこにいる、と賭ける。

だって君は、いつも僕の目の届かないところに隠れるんだもん。

僕は君にワナを仕掛ける。

だって君は、いつもこれにホイホイ入っていくでしょ？

こんなに思いをかけているのに、どうして君は僕から逃げるの？
・・・そりゃそうだよお。君は命を懸けているんだから。

僕は探すのをあきらめて、ついにイスに腰掛ける。

君は一体、どこにいったんだろう？

ふと、絵が掛けてある壁に目をかけると
茶色い影が僕の目の前を駆けていった。

みっつけた！

君に情けなんてかけたりはしないよ。

僕は君にそっと近づいて、スプレーをかけた。

時をかけるコロリメン

『かける』って、なんつーアバウトなお題……」

風呂上りに出版社から送られてきたメールを一瞥した翔子は、即座に顔をしかめた。

内容は翔子が連載をしている雑誌の企画で、複数の作家が毎回出されるお題をもとにコラムを書くというものだ。

この業界では、コラムといったら評論になることが多いが形式はかなり自由で、ショートショート、ポエム、はたまたレイアウト作品まで——B5サイズであれば——何でもアリな企画だ。様々な作家が工夫を凝らして書くので読者の人気も高いらしい。

今回は翔子も参加する組に入っている。そしてそのお題が、

「かける、か……何でこんなお題かなあ」

確か前回は「花」、前々回は「道」などという当たりさわりのないお題だったはずだ。

……曖昧すぎる。

何ともない話題をいかに面白く取り上げるか、という企画は作家の血が騒ぐ。あたしの順番よはやく来い！ などと逸っていた気が削がれた格好だ。

ひらがなで「かける」とある以上、そもそも字の捉え方が問題になる。

単純に漢字に直しただけでも、掛ける・欠ける・駆ける・賭ける……とたくさん挙げられる。

作家としては「刃ける」あたりで解釈するのが妥当な線かもしれないが——間違はなく曲かと被る。

ネタ被りだけは避けなければならない。小説にしろコラムにしろオリジナリティは最大の武器だ。

「かける……かける……」

視の仇か何かのように呟く。

……そのまま動詞として捉えるのがマズイのかもしれない。

「しっかける」と動詞の一部として考えるのもアリか。いやむしろ「かける」に拘る必要も無いのだからいつその「こ」文字を分解するのはどうだろう。ひっくり返して「るけか」と読んで——

「……わあお」

思いついたことを片っ端からメモした文章（と呼ぶのもおこがましい何か）を改めて見返して、翔子は思わず声を上げた。……「るけか」ってなんだ「るけか」って。

他にも「水をかける」の「かける」と解釈して「目玉焼きにかけるのはソースかしょうゆか。しょうゆに決まってる！」ともはや自分の職業を疑ってしまう駄文に思わず目をそらす。

「思いきってレイアウト作品にしてみよっかな……ふあ」

著詰まってきた頭をほぐしつつ、あくびを噛み殺して時間を確認すると——

「もうこんな時間……!」

そろそろ日が昇ろうかという時間帯だ。ただでさえ不規則な生活になりがちな仕事なので気を付けよう気を付けようと言いつつ聞かせていたというのに、駄文の集合を書くのに夜通しかけた自分が情けなくなる。

「あ……時をかけた。時をかける。これでいくか! ——あかんわ!」

だいぶ疲れてるなあ、と自分の状態を客観的に判断しつつ、翔子はベッドに転がり込んだ。

——起きたとき、書きあがってたらいいのになあ。

書きかけのコラムを脳内で編みつつ、翔子の意識は闇に落ちた。

かける かける

私は全速力でかけている

今を楽ししく生きたいから

今を一生懸命生きたいから

かける かける

私はひたすらかけている

あ 誰かに抜かされた

それでも気にせずかけてみる

かける かける

私は必死にかけている

他人と比較してしまう自分

他人より劣ることを認めたくない自分

かける かける

私は少しスピードを落としてみた

周りの風景がよく見えるようになった

わたしはいまをたのしみたい

『今のわたし』

怪談

こんな筈じゃなかったんだけど。とつぷりと陽の落ちた通学路を、一人歩く。お母さんは「暗くなつてから帰るときはお友達と一緒に帰りなさい。」と言った。理子としても、逆らう気はなかった。夜道はこわい。お化けや妖怪は、もっとこわい。

風が梢を揺らすたび、遠くで犬が吠えるたび、背中にぞくりと悪寒が走る。

運動会のリレーの練習をしていた。五時半に追い出されるまでは学校で。そのあとしばらく公園にいて、それから車通りの少ない車道を探した。移動のたびに人が減っていく、解散した時、理子の家の方角にむかうのは理子一人だった。

ぼつりぼつりと点在する街灯が、鬼火のようにまたたく。

だんだん歩を速めながら、それでも走り出すのはこらえる。曲がりくねった通学路は車通りも少ない、人通りもない。

急に真横の茂みがガサッと鳴った。

「ギャッ」

ひと声叫んで飛び退く。猫だった。

異様に光る瞳に見据えられ、立ちすくむ。だが理子がつばを飲み込んだ瞬間、興味を失い去って行った。

さつきよりもつよく、一人ぼっちが身に迫る。夜の帳は理子のテリトリーを様変わりさせ、よそよそしく突き放す。

不意に、背後にはつきりと人の気配を感じた。

心臓が、槌で打ち上げたように跳ね、恐怖の形の喉の奥で、悲鳴は凍りついた。

死に物狂いで走った。途中歩道の段差に足を取られてつんのめった。が、何とか手提げでバランスを取って持ち直した。

曲がり角は全部曲がった。身を翻るその動きで振り切れることを期待して。あの息遣いは、ひたひたとせまる足音は、想像なんかじゃない。

いくつ目だかの角をばつと曲がった時、道を間違えたことに気付いた。この先は袋小路だ。引き返そうにももう遅い。

しゃがみこんだ理子の上にふくらんだ闇が……

「描きかけの絵」

油絵の独特の香りのする部屋の真ん中に

真っ白なキャンバス。

そのさらに奥には真ん丸いテーブルに置かれた

読みかけの本と、食べかけの果物と、飲みかけのコーヒー。

今は、静物画の時間。

何かをしかけたその空間に

静のなかの動を見出して、

私は絵筆を走らせる。

今は、動物画の時間。

セツト

ハートのエースが欠ける。

トランプはできない。

議長が欠ける。

会議はできない。

ピースが欠ける。

パズルは永遠にできない。

キミが欠ける。

想像ができない。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	Multiply Codes	1 pt 「×」に「・」に「*」……かけるをあらわす符号たち。 やっぱりみなさんの好みも*でしょうか。たしかにカッコいいもんね。 そんな実感をさっくり拾ってナイスアイディアな今週の表紙です。 特別賞：おいしいで賞（文字を線でつなげて、何もおこらなかった。もう一工夫ほしい） がんばったで賞（不器用なりにがんばっている） グッドデザイン賞（みたまんま）	8 位	3 sp
A02	Sun × Rain.	2 pt 虹があらわれると見せかけて——という意外性が功を奏して、かえて「キラキラ」がくっきり印象的に見えました。 「あの時」なんて思わせぶりなのは、悲恋物語だから、なのでしょうか。 特別賞：平和賞（心が和やかになった） イチオシフレーズ：「Rainbow=Sun× Rain」× 2	6 位	1 sp
A03	かけっぱなしの一日	1 pt 3番4番、みごとなシンクロ。ええい、いっそ並べてしまえ、というTAさんの演出です。 こうして見ると、いっぱい「かける」してるなあ実感。	8 位	0 sp
A04	ある一日	0 pt 「顔に水をかける」その2です。 こちらはポエムのように「かける」で語尾を統一して、何気ない一日、積み重ねの一日、リズムカルに感じさせていただきました。	11 位	0 sp
A05	卵かけご飯	24 pt わあお、落差がすごいです。 荘重に形容した大自然。怒濤の嵐まで見せておいて、じつは卵かけご飯ですよ〜と。 いいなあこういう観察眼。シンプルおちが大インパクトで、黄金のメダルまで駆け上がりました。おめでとう!!! 特別賞：かっこいいで賞 アーティスティック賞 中二病で賞（そのまま） イチオシフレーズ：「銀箔の大地へ舞い降りる」× 2 「卵かけご飯（ナイスオチ!!）」	1 位	3 sp
		16 pt ごはんシリーズその2です。 こちら発想力では引けを取りません。 挽き割り納豆まで登場して、おいしそうな四則ごはん	3 位	3 sp

A06	四則混ごはん	を召し上げれ。 T Aさん狙い撃ち、フロアの読者のツボにもみごとは まって、ブロンズ・メダル&今週のイチオシフレーズ 大賞です、おめでとう!! 特別賞：おもしろかったで賞（普通におもしろかった から）その発想は無かったで賞（四則全部入れちゃう 発想がヤバい）ザ・卵かけご飯で賞（よく混ぜた） イチオシフレーズ：「ー÷納豆」×7 「四則混ごは ん」
A07	きみに翔ける想 い	0 pt11 位0 sp 追って逃げて追って逃げて。時計の針のような永遠の 追いかけて。呼応するレイアウトにしたことで、両 者の思いが輪唱のようにここちよく響いてきます。
A08	肉食系女子×草 食系男子	11 pt4 位2 sp 同時並行その2です。 こちらはむしろ対決モード。さあ、肉食系女子に草食 系男子が喰われる瞬間ですよ、ぱくり。 女子のほうを応援したくなる楽しさでした。みなさま は？ 特別賞：電話が古風 作者が気になるで賞（ガチャッ） 作者の恋愛経験が青二才で賞（本人が恋愛経験をして いるように見えない）
A09	決戦当日、門の 前にて	1 pt8 位0 sp ああなるほど、恋人と見せかけて、一足先に入学した 同級生さんですか。 ふたりの信頼関係のあつさが、ラストのセリフからふ わっと立ちのぼって、ほのぼの読み終われます。
A10	墮落した大学生	2 pt6 位1 sp 必死の思いで合格しても五月すぎればこ～んな大学 生？ ガッカリ感満載なところが、むしろ潔くて、オチもす とんと決まって楽しめました。 特別賞：脱字が惜しいで賞（3位決定戦で、脱字が理 由で見放されたため） イチオシフレーズ：「賭けるのが好きな彼」
A11	おじいちゃん	8 pt5 位1 sp カナチヨロって何～？ あちこちの班から疑問が。まあ 知らなくても楽しめますが。 カナチヨロ、笹舟、そしてベンチ。一つ一つの光景が くっくり浮かんで、そしてすべてが過去のものに。 敢えて詳細を明かさず、抑えた語り口でしっとりまと めた奥ゆかしいスタンスが余情ゆたかです。 特別賞：カナチヨロって何で賞（カナチヨロについて 知りたいから） イチオシフレーズ：「カナチヨロ」
		24 pt1 位1 sp エコーのようにきれいに整ったフレーズたちの響きが うつくしい。「かける」をただコレクションするの でなく、「かけなければ」「かけよう」と、変化させた 工夫も◎。 そのていねいな手仕事が評価されて、卵かけご飯と首

A12	(かける人)	位を分け合いました。おめでとう!!! なお、ほんと〜は薄くグラデーションで全体に大きく 「かける人」ってあったんです。でも、どうがんばっ ても印刷機で再現するのはムリでした。みなさまもお 気を付けください。 フォトショップのコントラストをMAXにしてOCW掲 載の作品で再現しておきましたので、ご興味のかたは そちらをどうぞ。 特別賞：理系賞（理系っぽいから）
-----	--------	--

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	九月十八日 正午過ぎ	4 pt レイアウトもなかなか楽しく仕上がっているけれど、セリフの諷刺の効かせかたが巧いなあ。「S」とか「純白」とか「空っぽ」とか。 お湯をかける、その発想はなかったわとフロアをうならせる今週の表紙です。 特別賞：ラーメンは「辛」で賞（このカップラーメンはきっと震災時に売れ残った「辛」だから）おなかがすいたで賞（お昼時でみんなお腹がすいた） イチオシフレーズ：「あちちゃ」×3	6 位	2 sp
B02	欲求ジグソーパズル	7 pt 人生に完成はない。そんなメッセージが託されていたのでしょうか。 ジグソーパズルにたとえたことで、人生は小さな日々の積み重ねという日常の実感にじっくりフィットして、「道中が楽しめればいいさ」というメッセージが説得的に伝わってきます。 ところがところが——お茶会で作者さんとお話したら「欲求」には、もっとナマナマしい言葉が入る予定だったとか！？ 特別賞：だって人間だもの賞（完全な人間はいない。人間の生き方をよく表している）相馬のイチ押し賞（押してるから！！）	4 位	2 sp
B03	トラウマ	0 pt さくさくさくとテンポよく、かけるくんストーリーが展開します。 特にドラマティックな転機が演出されるわけではなく、「さの」という名前の呼びやすさなんていうさりげないきっかけで暗闇を抜け出すにいたる、というナチュラルさも爽やかでナイス。 イチオシフレーズ：「僕の名字は佐野」	11 位	0 sp
B04	×	1 pt 人と人とのすれ違いのさびしさを呟きのように。「〜て」でつないでゆく息の長いフレーズに、そうだよ、そうだよと納得して引き込まれます。 詩情ゆたかな仕上がりでした。 特別賞：タイトルよいで賞（文字通り、多くの意味がかけられている）	8 位	1 sp
	ランドルトの世	24 pt 発想、表現、見せ方、すべてがすばらしい！ 円盤のぼやけたふわふわ感が漂ってきて、視力検査のあの緊張感が、みごとに異世界感覚へと昇華されて。 Gやキミの肉薄を振り切って、みごとゴールド・メダル	1 位	2 sp

B05	界	です、おめでとう!!! 特別賞：オチわかったで賞（飾りでオチがわかった） ランドセル賞（ランドセル） イチオシフレーズ：「ランドルトの世界」「こうして僕は、眼鏡をかけることになった。」
B06	雑記	4 pt 6 位 4 sp 謎めいて。 ヒントがありそうなのだけれど、すっきり分かりません。だから最多特別賞になりました。作者さーん、解説よろしく。 特別賞：全体的に理解不能で賞（文章の意図するところが、よく読みとれなかった） 謎で賞（話が聞きたいんですよ） 不詳（班員の誰も解読できなかったから） なんかありそうで賞
B07	おいかけっこ	20 pt 3 位 2 sp TAさんたちイチオシ！ 毎年、コラムランド名物Gの登場は五月頃と決まっていますが、今年はとりわけ華麗に登場ですね。 コミカルにミスリードを誘いつつ、さいごスッパリ仕留めて、グッジョブなブロンズ・メダルでした、おめでとう！ 特別賞：G賞（Gだから） イニシャルG賞（名前を口にしてはいけないGだから）
B08	時をかけるコラムニスト	5 pt 5 位 1 sp うーん、楽屋オチではないのですけれど、ここまでコード違反ギリギリを攻めた意図がよく分かりません。 この場を別視点から見て遊びたかったのでしょうか。 締め切りに追われる作家さんネタという定番を転がすなら、コラム縛りなどないほうが、もっと自由に描けたのでは？ 特別賞：賞子（翔子の作品が読みたかった） イチオシフレーズ：「あかんわ！」「『かける』～？ なんつーアバウトなお題……」
B09	今のわたし	1 pt 8 位 0 sp 一つステージを上がったことだし、競争ばかりに走るのではなくて、ここらでゆっくり将来を見通して。 スピードだけで一気に押し切ってしまうのではなく、ラストに置いた一呼吸がとてもいい。 イチオシフレーズ：「他人より劣ることを認めたくない自分」
B10	怪談	1 pt 8 位 0 sp 悪夢のような。前半じんわりと、後半加速して。緩急のつけかたがじょうずで、恐怖の形がスピード感で迫ってきます。 「ふくらんだ闇」でいきなり終わったのも、よけい恐い！ イチオシフレーズ：「ギャッ」
B11	描きかけの絵	0 pt 11 位 0 sp 静のなかの動。 「～かける」という進行形の表現を核に置くというお題の使い方のユニークさが、しっかり静→動というなかみと呼応して、とてもメッセージ性ゆたかな仕上がりです。
		23 pt 2 位 1 sp 告白メッセージ？

B12

セット

草食世代から、こんな力強いメッセージが発せられたら、成功率はかなり高そうです。特にラストの大きな文字が「熱さ」をじゅうぶんにアピールしてくる今週の読み納めでした。

「想像ができない」というフレーズのインパクトの大勝利でシルバー・メダル&今週のイチオシフレーズ大賞です、おめでとう!!

特別賞：じじ抜きはできるで賞

イチオシフレーズ：「キミが欠ける。想像ができない」×5